

科目名	CSU (コミュニケーションスキルアップ)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岡田弘子
学科・コース	スーパークリエイター科 1年A	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (1)	
教員の略歴	2007年度よりCSU講師 日本カウンセリング学会カウンセリング心理士 心療内科非常勤カウンセラー					
授業の学習 内容	1. 社会にデビューするためのトレーニング。 仕事に必要なコミュニケーション力に磨きをかけていきます。 2. 授業でのワーク体験や教科書学習を通して、「CSU検定」合格を目指します。					
到達目標	1. 基本的なコミュニケーション力をアップ！ ⇒話をして自分のことをわかってもらう。また、話を聴いて相手のことを理解していく。 2. 自己表現力をアップ！ ⇒自分が思っていること、感じていること、考えていることをきちんと言葉にして相手に伝える。 3. チームプレイ力をアップ！ ⇒グループで協力し課題を達成する。親しくない人、苦手な人とでも一緒にやっていく。					
評価方法と基準	1)出席回数 50% 2)ワークへの取り組み姿勢 20%(不適切なスマホいじりなど、目に余るマナー違反は減点) 3)振り返り試験(後期最終日に実施) 30%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義 集団演習	<自己紹介ワーク>クラス仲間と交流する。 「10の基本スキル」をチェックする。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
2	5月15日	講義 集団演習	<クラスの理解>仲間のことを知る。 グループ会話を体験する。CSUアンケート	
3	5月29日	集団演習	<名画鑑賞>協同作業を体験する。 作品のタイトルとイメージを発表する。	
4	6月19日	講義 個人演習	<エゴグラム>心の構造とその特徴を知る。 自分の良いところを見つける。	日常の自分の行動を振り返る。
5	7月3日	集団演習	<なぞの宝島>情報をまとめて課題を達成する。 チームワークを体験する。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
6	7月17日	講義 集団演習	<アサーション>適切な自己主張を理解する。 上手な頼み方・断り方を学ぶ。CSUアンケート	自己表現と他者への関わりを振り返る。
7	9月4日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義①>教科書学習。 「基本的対話スキル」を学ぶ。	教科書P8～P40を予習・復習する。
8	10月9日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義②>教科書学習。 仕事に役立つ「自己表現スキル」を学ぶ。	教科書P41～P92を予習・復習する。
9	11月6日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義③>教科書学習。 就活や仕事に必要な「社会的スキル」を学ぶ。	教科書P93～P124を予習・復習する。
10	11月20日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義④>教科書学習。 顧客への「サービスマインド」を学ぶ。	教科書P125～P157を予習・復習する。
11	12月4日	集団演習	<砂漠で遭難！>コンセンサス(意見の一致・全員の合致)のとり方を体験する。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
12	12月18日	集団演習 講義	<バスは待ってくれない>協同作業を通して、 集団でのリーダーシップ機能を学ぶ。	
13	1月15日	集団演習	<おもしろ村>情報をまとめて課題を達成する。 チームワークを振り返り発表する。	
14	1月29日	個人演習	CSUの振り返り～記述小試験 CSUアンケート	CSUで経験したことを思い出す。
15	調整中	試験	CSU検定試験	
準備学習 時間外学習			様々な人と交流しながら、社会デビューに向けてのコミュニケーション力を身につける。	
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書「コミュニケーションスキルアップ検定」 CSUオリジナルワークプリント				

科目名	デッサンⅠA	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 エルド 吉水
学科・コース	スーパークリエイター科 昼-1年A	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (2)	
教員の略歴	『龍子 RYUKO』が「このマンガをよめ!」4位、「このマンガがすごい!」オトコ編13位。東京芸術大学大学院修了。					
授業の学習 内容	イラストに必要な人体作画 複数の可動フィギュアを配置して撮影し作画、自撮りや友人をモデルに撮影して作画。 年に4回は実際のモデルさんをスケッチ。頭身・プロポーション・筋肉骨格・重心から人体パース イラストに必要な陰影と光 面、量感、形は石膏像デッサンで小道具や背景などの基本は静物デッサンで。 質感の違いの描き分け、空間での位置関係など。					
到達目標	「イラストのキャラの顔は描けるけど、手が苦手で 俯瞰 や 振り は描けない」 「漫画で 複数のキャラ が教室にいる場面が難しい」 「迫力のあるバトルシーンを描きたいけど 人体のパース がわからない」 これらは確かに難しいです。これらを克服するのが最終到達目標です プロのイラストレーターさんでも最初は描けなかったのです。					
評価方法と基準	個々の 長所 を最大限に評価します。 短所は前作からどれだけ 改善努力 をしたかを評価します。					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/16	講義と演習	①自己紹介②スマホを見ないで立ち絵を描く ②立ち絵の模写(スマホで好きな絵を探してB4サイズに模写)	
2	4/23	実習	可動フィギュアにポーズをさせて撮影して描く 講評	前回の復習。
3	5/7	実習	友人クロッキー(骨格、比率、重心を解説後に実技)	前回の復習。
4	5/14	実習	可動フィギュアにポーズをさせて撮影して描く 講評	前回の復習。
5	5/21	実習	友人クロッキー(服を着た人間を7分間で描く)	前回の復習。
6	5/28	実習	手と顔を組み合わせたポーズを撮影して描く(自撮りか友人) 講評	前回の復習。
7	6/11	実習	友人クロッキー(服を着た人間を7分間で描く)	前回の復習。
8	6/18	実習	男性モデルクロッキー(パンツ姿で4セット+着衣で2セット) 1セット=10分ポーズ×2	前回の復習。
9	6/25	実習	1.鉛筆デッサンの解説 2静物デッサン(玉ねぎとニンニクとアボガド)	前回の復習。
10	7/2	実習	前回のデッサンの講評。 友人クロッキー	前回の復習。
11	7/9	実習	1.鉛筆デッサンの解説 2静物デッサン(パスタとワイン瓶)	前回の復習。
12	7/16	実習	前回のデッサンの講評。 友人クロッキー	前回の復習。
13	8/27	実習	動物スケッチ(西葛西の行船公園)	前回の復習。
14	9/3	実習	女性モデルクロッキー(水着姿で4セット+着衣で2セット) 1セット=10分ポーズ×2	前回の復習。
15	9/10	実習	可動フィギュアにポーズをさせて撮影して描く 講評	前回の復習。
準備学習 時間外学習			学校内で友人クロッキー、自分の手のスケッチ、風景のスケッチなど。	
【使用教科書・教材・参考書】 スマホとモバイルバッテリー、デッサン用具 ※デッサン用具とは鉛筆、練り消しゴム、消しゴム、シャーペン カッターナイフ、クロッキー帳				

授業名(時間割表記)	デッサンⅡA	必修 選択	選択	年次	2年	担当教員 鈴木弥栄子
学科・コース	スーパークリエイター科昼ー2年A	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2	
教員の略歴	東京藝術大学大学院美術研究科修士課程(油画)修了。画家。					
授業の学習 内容	絵を描くことの基本は観察すること！デッサンで対象の観察・描写・修正という一連の作業を反復することで、正確に形を捉える技術・質感描写・陰影描写・画面構成力を獲得する。また、クロッキーで人体の構造を把握しながら、限られた時間の中での集中力と表現力を鍛える。					
到達目標	イラストを描くのに必要な、基礎的な観察力・描写力を身につけることを目標とする。 1年を通じて各々の描画のクオリティの上げ方を模索し、ポートフォリオに入れられるレベルを目指す。部分の完璧さを求めるのではなく、時間内で全体をベストな状態まで持っていくバランスコントロール力や客観性を身につける。					
評価方法と基準	以下を評価の基準とし、総合的に判断する。 作品提出率、客観的完成度、学生各自の習熟度、授業態度					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/15,4/16	講義・実技	ガイダンス／画材説明／逆さまデッサン1	1日15分のクロッキー(週5枚)
2	4/22,4/23	実習	逆さまデッサン2	1日15分のクロッキー(週5枚)
3	5/13,5/7	講義・実技	全体講評／慣らしクロッキー(持ち回り)	1日15分のクロッキー(週5枚)
4	5/20,5/14	実習	女性モデルクロッキー(水着)	自画像のラフを考えてくる
5	5/27,5/21	実習	自画像デッサン1	1日15分のクロッキー(週5枚)
6	6/3,5/28	実習	自画像デッサン2	1日15分のクロッキー(週5枚)
7	6/17,6/4	実習	自画像デッサン3	自画像デッサンを完成させる
8	6/24,6/18	講義・実技	講評／手と足のクロッキー	復習(手と足のクロッキー)
9	7/1,6/25	実習	細密デッサン(靴)1	1日15分のクロッキー(週5枚)
10	7/8,7/2	実習	細密デッサン(靴)2	1日15分のクロッキー(週5枚)
11	7/15,7/9	実習	細密デッサン(靴)3	1日15分のクロッキー(週5枚)
12	7/22,7/16	講義・実技	講評／透明化・単純化クロッキー	復習(透明化・単純化クロッキー)、夏休み課題
13	8/26,8/27	実習	男性モデルクロッキー(水着)	1日15分のクロッキー(週5枚)
14	9/2,9/3	講義・実技	石膏デッサンあたりどり	1日15分のクロッキー(週5枚)
15	9/9,9/10	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			主に自主的なクロッキー口	
【使用教科書・教材・参考書】適宜プリントを配布				
【持参する画材】デッサン道具一式(鉛筆・練りゴム・消しゴム・カッター・クロッキー帳)、講評用メモ帳				

授業名(時間割表記)	デッサンⅢA	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	城 哲也
学科・コース	スーパークリエイター科昼-3年A	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	イラストレーション、キャラクターデザイン						
授業の学習内容	デッサンをする意義を理解し、デッサンをすることでデッサン力を身につけるための授業です。デッサン力とはクリエイティブ活動において、クオリティーを下支えする基本的な技術です。この授業では鉛筆による実写表現の勉強をしています。それにより観察することの大切さ、いろいろなものの見方が洞察力に繋がるとともに表現技術の向上を目指します。コミックイラストにおいても独自の表現を魅力的にすることに役立ち、表現の幅を広げてくれます。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ●作品制作において、クオリティーを高めるための客観的な視点や判断能力と表現技術を獲得する。 ●多様なテーマに対する対応能力を獲得する。 						
評価方法と基準	課題提出数・課題評価点数						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/19	実習と講義	静物デッサンと講義と個人面接	身の回りのものをデッサン
2	4/26	実習と講義	上記の続きと全体講評会	身の回りのものをデッサン
3	5/10	実習	静物デッサン	自分の手をデッサン
4	5/17	実習と講義	上記の続きと全体講評会	クロッキー
5	5/24	実習	クロッキー	クロッキー
6	5/31	実習と講義	クロッキーと全体好評	人物写真をスケッチ
7	6/7	実習	石膏デッサン	身の回りのものをデッサン
8	6/21	実習	上記の続き	身の回りのものをデッサン
9	6/28	実習と講義	上記の続きと全体講評会	自画像
10	7/5	実習	女性モデル(コスチューム)	クロッキー
11	7/12	実習と講義	静物デッサン	クロッキー
12	7/19	実習と講義	上記の続きと全体講評	街中をスケッチ
13	8/30	実習	クロッキー	クロッキー
14	9/6	実習と講義	クロッキーと全体好評	身の回りのものをデッサン
15	9/13	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			自主的提示課題デッサン	
【使用教科書・教材・参考書】				